

1. 科学を伝える 地球規模課題の解決に向けた科学コミュニケーション活動

地球規模課題を解決するために、立場や価値観の異なる人々の考え方とそこに至った背景を互いに知ることが重要です。アジア太平洋地域の科学館と連携するとともに、研究機関や外部機関等と連携した多様な活動に組み込みました。

■外部との協働コンテンツ開発

▶「Picture Happiness on Earth」の実施

アジア太平洋地域の科学館のエducーターが、ジオ・コスモスやジオ・スコープの活用方法を日本科学未来館で学んだ後、「幸せ」をテーマにそれぞれの国で中高生とともにワークショップを開催。ジオ・コスモスに映し出すシナリオを作成しました。

期 間：2015年9月～2017年3月（1年半のプログラム 参加館を変え2サイクル実施予定）

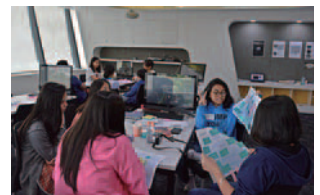
参加館：China Science And Technology Museum（中国）、Petrosains（マレーシア）、Science Centre Singapore（シンガポール）、Scitech（オーストラリア）、The Mind Museum（フィリピン）、静岡科学館 る・く・る（日本）

主 催：日本科学未来館

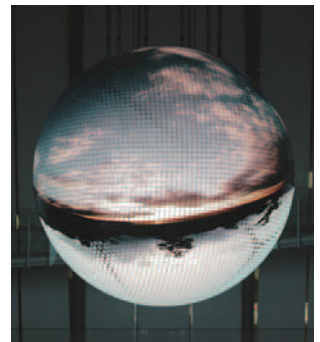
協 賛：ブルームバーグ（Bloomberg L.P.）



Picture Happiness on Earth
日本科学未来館での研修



Picture Happiness on Earth
The Mind Museum でのワークショップ



Awakening horizon ～地動～



地球合宿 ワークショップの様子

▶「ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト2015」の開催

「ジオ・コスモス」という球体ディスプレイの新たな可能性や表現方法を切り拓くことを目指し、「地球の時間 / Time on the Globe」をテーマとして15秒程度のオリジナルコンテンツを一般公募しました。

公 募 期 間：2015年6月10日（水）～8月17日（月）

授 賞 式：2015年10月13日（火）

審査委員長：毛利衛（日本科学未来館 館長）

審 査 委 員：インゴ・ギンター（アーティスト）、小久保英一郎（天文学者）、ジェフ・ミルズ（DJ / テクノプロデューサー）、辻川幸一郎（グラフィックデザイナー / 映像作家）、長谷川踏太（Wieden+Kennedy Tokyo エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター）

※五十音順

大 賞：「Awakening horizon ～地動～」河上裕紀（株式会社オムニバス・ジャパン）、村井智（tymote Inc.）

入 選：「星降るスノードーム」佐藤孝亮（株式会社オムニバス・ジャパン）、there is a fox「マイネイムイズタイム」サマーハウス「地球の進化論」中野拓馬（株式会社東北新社）、佐藤広行（株式会社オムニバス・ジャパン）「タイム パーティクルズ」superSymmetry（株式会社オムニバス・ジャパン）、大野哲二

※大賞作品は2015年11月16日（月）から1年間、毎時00分に上映

■イベントの実施

▶地球合宿2015ーテクノロジーで人類を守れるか!?

人類が生み出してきたテクノロジーは、今後も私たちの暮らしを支え続けてくれるのでしょうか？地球上で人類が生き抜いていくために、テクノロジーが果たす役割を考え、私たちの未来を切り拓く可能性を探りました。

期 間：2015年11月7日（土）～15日（日） 参加者：のべ1,550人

「つながり」プロジェクト：

シンボル展示「Geo-Cosmos」を中心に、「Geo-Scope」「Geo-Palette」「Geo-Prism」などのツールを連動させて、さまざまな視点から地球にアプローチするプロジェクトです。今の地球、今の自分についての「知」を深め、未来のビジョンをともに作りあげていくことを目指しています。

Geo-Cosmos（ジオ・コスモス）：

1階から6階までの吹き抜け空間（シンボルゾーン）に浮かぶ直径約6メートルの巨大な「地球ディスプレイ」。表面には、有機ELパネル10,362枚が貼り込まれ、1,000万画素を超える高解像度で、宇宙空間に輝く地球の姿をリアルに映し出します。

Geo-Scope（ジオ・スコープ）：

国内外の科学者や研究機関から集めたさまざまな地球観測データへ自由にアクセスできる、インタラクティブボード。

Geo-Palette（ジオ・パレット）：

世界の国々や地域に関する多様な情報をもとに、オリジナルの世界地図を描くことができるオンラインサービス。

Geo-Prism（ジオ・プリズム）：

AR技術を用いて、Geo-Cosmosにデータやシミュレーションを重ねて表示できるシステム。

（敬称略）

1. 科学を伝える 常設展 ①

■100億人でサバイバル

地震や噴火などの自然災害は、私たちの暮らしに大きな被害を与えてきました。さらに、科学技術や移動手段が発達した現代では、感染症の拡大、異常気象の増加、原発事故など、思いもよらなかった新たな災害もうまれています。さまざまな災害が起こるしくみや、その被害を理解し、私たちがこの地球で生き延びていくために、今、何をすべきなのか、みなさんとともに考える展示をつくりました。

展示公開：2016年4月～

エ リ ア：5階 世界をさぐる

総合監修：毛利衛(日本科学未来館館長、宇宙飛行士)

監 修：押谷仁(東北大学大学院 医学系研究科 教授)、岸本充生(東京大学公共政策大学院 政策ビジョン研究センター 特任教授)、田近英一(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授)

詳 細：<http://www.miraikan.jst.go.jp/exhibition/world/earth/missionsurvival.html>



100億人でサバイバル

▶関連イベント

・常設展リニューアルオープン・プレイベント

サイエンティスト・トーク「未知の災害ダメージを『想定外』と言わないために」

実施日：2016年3月6日(日) 参加者：35人

会 場：3階実験工房 および 5階「100億人でサバイバル」

講 師：岸本充生(東京大学公共政策大学院 政策ビジョン研究センター 特任教授)

■未来逆算思考

私たちが暮らす豊かな地球を次世代に受け継いでいくために、なにをしたらよいのでしょうか？理想の未来を描き、そこから逆算することで、私たちが今からするべきことが見えてきます。50年後に暮らす子孫たちにどんな地球を贈ることができるのか、ゲーム形式でアクティブに体験できます。

展示公開：2016年4月～

エ リ ア：3階 未来をつくる

総合監修：大垣眞一郎(公益財団法人 水道技術研究センター 理事長)

監 修：勝川俊雄(東京海洋大学 産学・地域連携推進機構 准教授)、木部暢子(国立国語研究所 副所長・時空間変異研究系 教授)、花木啓祐(東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 教授)、広井良典(千葉大学 法政経学部 総合政策学科 教授)、松橋隆治(東京大学大学院 工学系研究科 電気系工学専攻 教授)、宮廻正明(東京芸術大学大学院 美術研究科 教授)、山本雄士(株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 リサーチャー／株式会社ミナケア 代表取締役)

詳 細：<http://www.miraikan.jst.go.jp/exhibition/future/innovation/backward.html>



未来逆算思考

■メディアラボ第15期展示「アルクダケ 一歩で進歩」

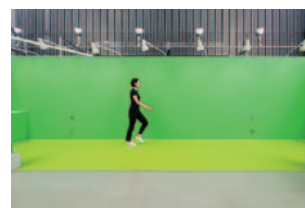
腕の振り方や歩幅の大きさや姿勢など、私たちは一人ひとり個性のある「歩き方」をしています。カメラで撮影した歩く姿を数学的に解析し、人物の特徴を読み取ることで、年齢推定、脳の健康度判定体験をしていただき、「歩き方」から個人がわかる未来の情報環境を体験していただきました。

展示公開：2015年7月～

エ リ ア：3階 未来をつくる

出 展 者：八木康史(大阪大学 産業科学研究所 所長／複合知能メディア研究分野 教授／JST CREST 「歩容意図行動モデルに基づいた人物行動解析と心を写す情報環境の構築」プロジェクト)

詳 細：<http://www.miraikan.jst.go.jp/sp/medialab/>



アルクダケ 一歩で進歩

■ノーベルQ ノーベル賞受賞者たちからの問い

未来館を訪れたノーベル賞受賞者たちから、「来館者にいつまでも考え続けてもらいたい問い」をいただき、メッセージとして紹介しています。個性豊かな問いかけにあなたならどう答えるか、考えてみてください。

展示公開：2016年4月～

エ リ ア：3階 未来をつくる

詳 細：<http://www.miraikan.jst.go.jp/exhibition/future/lab/nobelq.html>



ノーベルQ
ノーベル賞受賞者たちからの問い

■ミライゲート／セカイゲート

3階「未来をつくる」及び5階「世界をさぐる」の入り口部分に、科学者やクリエイターらの「問い」「考え」「アクション」を表示するゲートを設置しました。

展示公開：2016年4月～

場 所：3階 未来をつくる、5階 世界をさぐる



ミライゲート

(敬称略)

1. 科学を伝える 常設展 ②

■ ジオ・プリズム

シンボルゾーンとオーバルブリッジに設置されたタッチスクリーン端末です。AR(拡張現実感)技術を用いて、ジオ・コスモスに重ねたデータやシミュレーション画像を操作することで、地球と自分とのつながりを、より深く感じ理解できます。

展示公開：2016年4月～

エリア：3～5階「オーバルブリッジ」、1階 シンボルゾーン

コンテンツ：海洋大循環シミュレーション
水循環変動観測衛星「しずく」
グローバル・ツイト・タイムライン

詳細：http://www.miraikan.jst.go.jp/exhibition/tsunagari/geo-prism.html



ジオ・プリズム

■ ジオ・コックピット

内側のガラスには、成層圏をイメージさせるブルーのグラデーションを中間膜に印刷し、地球を映し出すジオ・コスモスとのコラボレーションを図った「ジオ・コスモス」のコントロールルーム。「ジオ・コスモス」を間近に見ることができるほか、「ジオ・プリズム」などのツールも体験することができます。

展示公開：2016年4月～

エリア：3階 未来をつくる

空間設計：吉野繁(株式会社日建設計 デザインフェロー)

詳細：http://www.miraikan.jst.go.jp/exhibition/tsunagari/



ジオ・コックピット

■ コ・スタジオ

コ・スタジオの「コ」とは、ラテン語の「co=ともに何かをする」の意味です。最新の科学トピックについて科学コミュニケーターやボランティアとともに語り、考えるスペースを整備しました。

展示公開：2016年4月～

場所：5階 世界をさぐる



コ・スタジオ

■ ドームシアター『9次元からきた男』

素粒子のミクロ世界と、宇宙のマクロ世界をあらわす二つの理論。矛盾するこの2つの理論を統一するのが「万物の理論」であり、物理学の究極の目標でもあります。現在、最も有力な仮説である「超弦理論」が提示する世界を、エンターテインメント性あふれる実写と精緻なCG・データビジュアライゼーションを融合させた3Dドーム映像で体感していただける作品をつくりました。

展示公開：2016年4月～

監修：大栗博司(カリフォルニア工科大学 教授・理論物理学研究所 所長／東京大学 カブリ数物連携宇宙研究機構 主任研究員)

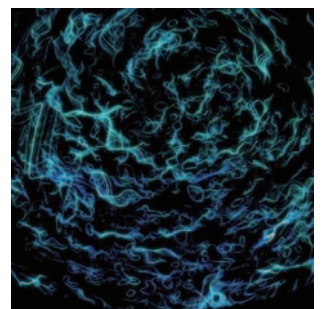
監督：清水崇

ビジュアル・ディレクター：山本信一

詳細：http://www.miraikan.jst.go.jp/sp/9dimensions/



『9次元からきた男』



超弦理論を表す映像の一部

▶ 関連イベント

・『9次元からきた男』レクチャー付きプレミア先行試写会

実施日：2016年1月20日(水) 17:30～20:30 参加者：217人

会場：7階 未来館ホール、6階 ドームシアター

登壇者：大栗博司(カリフォルニア工科大学 教授・理論物理学研究所 所長／東京大学 カブリ数物連携宇宙研究機構 主任研究員)
清水崇(映画監督)

・常設展リニューアルオープン・プレイベント『9次元からきた男』先行試写会

実施日：2016年3月6日(日) 参加者：77人

(敬称略)

1. 科学を伝える 企画展 ①

■企画展「チームラボ 踊る!アート展と、学ぶ!未来の遊園地」

展示と体験を通じ、デジタルアート作品の新たな表現が科学技術の新しい見せ方や未来づくり、テクノロジーが切り拓く表現の可能性を持っていることを伝えました。

(来場者数:465,995人(2015年度来場者数:141,577人))

会 期:2014年11月29日(土)~2015年5月10日(日)

会 場:1階 企画展示ゾーン

主 催:日本科学未来館、チームラボ、日本テレビ放送網、BS日テレ

共 催:ゆりかもめ

協 賛:日本マイクロソフト株式会社、株式会社PFU、ソニー株式会社、ぺんてる株式会社、株式会社ニッセン、青山フラワーマーケット、SORRA, Inc.、ウシオライティング株式会社

後 援:文部科学省/TOKYO FM/TOKYO MX/テレビ神奈川/りんかい線

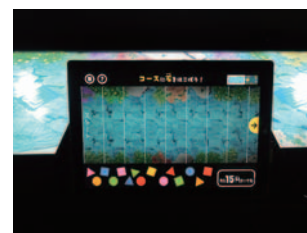
URL: <http://odoru.team-lab.net/>



「チームラボ 踊る!アート展と、学ぶ!未来の遊園地」



展示会場



つくる!僕の天才ケンケンパ



お絵かきタウンペーパークラフト

▶関連イベント

・みんなでデジタルアニメーションをつくろう

期 間:2015年4月1日(水)、2日(木)

会 場:1階 コミュニケーションロビー

参加者:42人

・チームラボカメラ Ver.ふなっしー 新フレーム

期 間:2015年4月8日(水)~5月10日(日)

会 場:1階 シンボルゾーン

・つくる!僕の天才ケンケンパ

期 間:2015年4月8日(水)~4月28日(火) ※平日のみ

会 場:1階 企画展示場内

・お絵かきタウンペーパークラフト

実施日:2015年4月8日(水)~4月28日(火) ※平日のみ

会 場:1階 企画展示場内

参加者:のべ6,561人

・スペシャルトーク「村上隆×猪子寿之 —2人がみつめるアートの未来」

実施日:2015年4月11日(土) 17:00~18:00

会 場:7階 インベーションホール

登 壇:猪子寿之(チームラボ代表)、村上隆(アーティスト)

モデレーター:片桐孝憲(ビクシブ株式会社 代表取締役社長)

参加者:192人

(敬称略)

1. 科学を伝える 企画展 ②

■企画展「ポケモン研究所～キミにもできる！新たな発見～」

親しみのあるキャラクター「ポケットモンスター(ポケモン)」を通して、「観察」や「分類」という科学的な手法やプロセスを、楽しみながら体験できる企画展を開催しました。

(来場者数：197,007人)

会 期：2015年7月8日(水)～10月12日(月・祝)

会 場：1階 企画展示ゾーン

主 催：日本科学未来館、読売新聞社

企画協力：株式会社ポケモン、株式会社ポケモンコミュニケーションズ

後 援：文部科学省、りんかい線

URL：<http://pokemonlab.jp/>



「ポケモン研究所～キミにもできる！新たな発見～」

▶関連イベント

・イキモノ研究所 ～分類から発見！～

実施日：2015年8月18日(火)・19日(水)・20日(木)

会 場：1階 多目的ルームb、企画展示会場(第3研究室)

参加者：計50人(3回)

・サイエンティスト・トーク「あなたと自然をつなぐ分類学 ～分類から解き明かす地球の自然史～」

実施日：2015年9月20日(日)

会 場：1階 コミュニケーションロビー

講 師：馬渡駿介(北海道大学 名誉教授、企画展示内第3研究室 科学監修者)

参加者：78人



展示会場



イキモノ研究所～分類から発見！～



サイエンティスト・トーク
「あなたと自然をつなぐ分類学～
分類から解き明かす地球の自然史～」

■企画展「GAME ON ～ゲームってなんでおもしろい？～」

従来のゲームの領域を超え、現実との接点を作り、コミュニケーションをますます活発化させているゲームについて、ポジティブな価値や意義を再発見し、その未来を考える企画展を開催しました。(2015年度来場者数：48,589人)

会 期：2016年3月2日(水)～5月30日(月)

会 場：1階 企画展示ゾーン

主 催：日本科学未来館、フジテレビジョン、角川アスキー総合研究所

企画協力：バービカン・インターナショナル・エンタープライズ

特別協賛：PlayStation

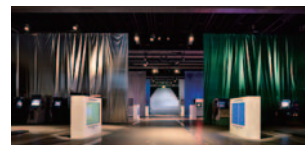
協 力：CG-ARTS協会、株式会社セガホールディングス、株式会社タイトー、立命館大学ゲーム研究センター、株式会社アフレム、インテル株式会社、カドカワ株式会社、株式会社KADOKAWA、株式会社カプコン、KINACO、株式会社コナミデジタルエンタテインメント、株式会社jig.jp、株式会社スイッチサイエンス、株式会社スクウェア・エニックス、東京理科大学近代科学資料館、株式会社ドワンゴ、株式会社ナイアンティック、日本ゲーム博物館、任天堂株式会社、株式会社ポケモン、マイコン&ゲーム BEEP、山崎功、おにたま

後 援：文部科学省、デジタルコンテンツ協会、デジタルメディア協会、日本オンラインゲーム協会、日本デジタルゲーム学会(DiGRA JAPAN)、りんかい線、TOKYO MX

平成27年度[第19回]文化庁メディア芸術祭協賛事業



「GAME ON
～ゲームってなんでおもしろい？～」



展示会場

(敬称略)

1. 科学を伝える トークセッション、短期イベント、ミニ展示など ①

どのような未来の社会をつかっていきたいのか、過去から何を学ぶことができるのか、今私たちにできることは何か、答えのない課題について参加者と共に考え、議論をする取り組みを行いました。

■世界市民会議（World Wide Views）「気候変動とエネルギー」

世界市民会議は地球規模の課題を扱う国際交渉に世界中の市民の意見を届けることを目的としています。世界各地でそれぞれ100人の専門家でない市民を集め、共通のテーマで議論し、与えられた選択肢に投票して意見を表明しました。日本科学未来館では、得られた意見を気候変動枠組条約締約国会議（COP21）に日本の代表団として出席する外務省・環境省・文部科学省及び国連広報センターに届けました。

実施日：2015年6月6日（土）

参加者：100人

連携：United Nations Framework Convention on Climate Change（UNFCCC）、Commission Nationale du Débat Public（CNDP）、The Danish Board of Technology Foundation（DBT）

監修：小林傳司（大阪大学コミュニケーションデザインセンター 教授）

アドバイザー：江守正多（国立環境研究所 地球環境研究センター 気候変動リスク評価研究室長）、沖大幹（東京大学 生産技術研究所 教授）、松橋隆治（東京大学大学院 教授）

場所：JST東京本部別館

■みらいのかぞくプロジェクト

価値観の多様化や医療技術、科学技術の進展によって、様々な新しい「家族」のかたちが現れています。「家族」の形について、科学技術面だけではなく、社会学・文化人類学の側面からも考えるイベントを行いました。

・キックオフ・イベント「"みらいのかぞく"を考える ～人の心・制度・科学技術～」

実施日：2016年2月11日（木・祝）

参加者：51人

講師：武藤香織（東京大学医科学研究所 公共政策研究分野 教授）、松尾瑞穂（国立民族学博物館 先端人類科学研究部 准教授）

場所：7階 イノベーションホール



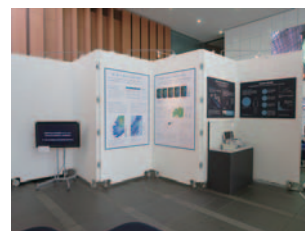
みらいのかぞくプロジェクト
（武藤香織氏による基調講演の様子）

■Lesson#3.11 5年前、そして5年間に起きたこと

2011年3月に起きた東日本大震災とその後の原発事故は、各地に大きな被害をもたらし、今もなお社会に大きな影響を与えています。震災から5年の契機となる本年、経験から学び未来を考えるための特別イベントを行いました。

会期：2016年3月5日（土）～2016年3月28日（月）

会場：1階 コミュニケーションロビー ほか



パネル展示
「5年前、そして5年間に起きたこと」

▶パネル展示「5年前、そして5年間に起きたこと」

▶ワークショップ「どこにある？放射線を測ってみよう」、「エネルギー、わたしの選択」

参加者：のべ368人

▶ミニトーク「見えないものと向き合うために ～放射線とわたしたちの暮らし」、「放射線をどのくらい浴びると危ないの？－低線量被ばくと健康影響」、「エネルギー、あなたの選択」

参加者：のべ288人

▶サイエンティスト・トーク「未知の災害ダメージを『想定外』と言わないために」

実施日：2016年3月6日（日）

参加者：35名（着席22名、立ち見13名）

講師：岸本充生（東京大学公共政策大学院 特任教授）

▶トークイベント「納得できてる？低線量被ばくの影響－科学でしめす、社会が選ぶ－」

実施日：2016年3月12日（土）

参加者：76人（ニコニコ生放送 Miraikan channel 視聴者数：661）

講師：津田敏秀（岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授）、越智小枝（相馬中央病院 内科診療科長）



トークイベント
「納得できてる？低線量被ばくの影響－科学でしめす、社会が選ぶ－」

（敬称略）

1. 科学を伝える トークセッション、短期イベント、ミニ展示など ②

■ トークイベント

来館者と研究者との双方向コミュニケーションや、未来社会、科学技術と自分とのかかわりについて考える場を作り、以下の活動を行いました。

- ・サイエンティスト・トーク「細胞、からだ、私。ー医療を選ぶ日までに聞いておきたい『細胞』のはなし」

実施日：2015年4月4日(土)

講師：浅島誠(日本学術振興会 理事、東京大学 名誉教授)

参加者：72人

会場：7階 イノベーションホール

- ・サイエンティスト・トーク「みどりをつなぐ ーひと・まち・地球」

実施日：2015年6月20日(土)

講師：進士五十八(東京農業大学 名誉教授)

参加者：40人

会場：3階 実験工房

- ・みどりの学術賞 受賞記念講演会

実施日：2015年7月12日(日)

講師：進士五十八(東京農業大学 名誉教授)、寺島一郎(東京大学大学院 理学系研究科 教授)

参加者：100人

会場：7階 未来館ホール

- ・ロボット・パフォーマンス「フレフレ未来のイノベーター！村田製作所チアリーディング部がやってくる！」

実施日：2015年7月18日(土)

講師：吉川浩一(村田製作所チアリーディング部 開発プロジェクトリーダー)

参加者：670人

会場：7階 イノベーションホール

- ・サイエンティスト・トーク「細胞の中、『生！』で見えます。ー光るタンパク質が語る生命の世界」

実施日：2015年8月8日(土)

講師：宮脇敦史(理化学研究所 脳科学総合研究センター 副センター長／細胞機能探索技術開発チーム チームリーダー、同研究所 光量子工学研究領域 生命光学技術研究チーム チームリーダー)

参加者：120人

会場：7階 イノベーションホール

- ・サイエンティスト・トーク「あなたと自然をつなぐ分類学 ～分類から解き明かす地球の自然史～」

実施日：2015年9月20日(土)

講師：馬渡駿介(北海道大学 名誉教授)

参加者：78人

会場：1階 コミュニケーションロビー

- ・サイエンティスト・トーク「“アルクダケ”でその人がわかる!? ～歩容認証がみちびく未来の暮らし～」

実施日：2015年12月4日(土)

講師：八木康史(大阪大学 理事・副学長)

参加者：35人

会場：3階 実験工房

- ・サイエンティスト・トーク「ニュートリノが語る世界のしくみ ー2015年ノーベル物理学賞受賞記念」

実施日：2015年12月5日(土)

講師：中家剛(京都大学理学研究科 教授)

参加者：50人

会場：3階 実験工房

- ・サイエンティスト・トーク「未知の災害ダメージを『想定外』と言わないために」

実施日：2016年3月6日(日)

講師：岸本充生(東京大学公共政策大学院 政策ビジョン研究センター 特任教授)

参加者：35人

会場：3階 実験工房 および 5階「100億人でサバイバル」



サイエンティスト・トーク
「細胞の中、『生！』で見えます。
ー光るタンパク質が語る生命の世界」



“アルクダケ”でその人がわかる!?～
歩容認証がみちびく未来の暮らし～



未知の災害ダメージを『想定外』と
言わないために

(敬称略)

1. 科学を伝える 時宜をとらえた活動 ③

■ ノーベル賞・イグノーベル賞 関連イベント

科学コミュニケーターが受賞者の予想を行うだけでなく、活動拠点「ノーベルスタジオ」を展示場内に設置し、多様な情報発信活動を行いました。

▶サイエンス・ミニトーク

- ・「笑い、そして、考えるイグノーベル賞」

期間：2015年9月14日(月)～9月30日(水) 参加者：のべ517人

- ・「どうなる!?今年のノーベル賞」

期間：2015年9月16日(水)～発表当日 参加者：のべ464人

- ・「どうなった!?今年のノーベル賞」

期間：2015年10月8日(水)～19日(月) 参加者：のべ1,068人

▶ノーベルスタジオ@Miraikan

期間：2015年10月5日(月)～11日(土)

▶ニコニコ生放送「2015年ノーベル賞発表の瞬間を一緒に迎えよう！」

期間：2015年10月5日(月)～7日(水) 視聴者数：3賞合計 123,225(コメント：75,129件)

▶科学コミュニケーターブログ

期間：2015年9月14日(月)～10月9日(金) 記事：28本 アクセス数：151,981

URL: <http://blog.miraikan.jst.go.jp/>

▶特設サイト(参加型)「ノーベル賞を予想しよう!2015」

期間：2015年9月26日(土)～発表当日 アクセス数：46,182

URL: <http://www2.miraikan.jst.go.jp/nobel/index.html>

▶マスメディアを通じた情報発信(科学コミュニケーターの番組出演、取材対応)

取材対応件数：74件(テレビ：35件、新聞：37件、ラジオ：2件)

ノーベル賞の受賞者の予想についてのコメント

- ・NHK「これでわかった世界のいま」 2015年9月20日(日)

詫摩雅子(科学コミュニケーション専門主任)、谷明洋(科学コミュニケーター)

- ・フジテレビ「みんなのニュース」 2015年10月3日(土)

志水正敏(科学コミュニケーター)

- ・NHK「ニュース7」 2015年10月4日(日)

詫摩雅子(科学コミュニケーション専門主任)、陳ドウ(科学コミュニケーター)

ノーベル賞物理学賞の受賞内容について解説

- ・テレビ朝日「スーパーJチャンネル」 2015年10月7日(火)

谷明洋(科学コミュニケーター)

■ 中秋の名月 未来館でお月見！ 2015

会 期：2015年9月19日(土)～9月27日(日)

会 場：1階 シンボルゾーン、3.5階 常設展 ほか

イベント：ワークショップ「顕微鏡でお月見!? 隕石からわかる太陽系のヒミツ！」 参加者：21人

特別版ミニトーク「研究者と一緒に、月隕石の世界をのぞこう！」 参加者：計70人(2回)

実 施 日：2015年9月27日(日)

講 師：荒井朋子(千葉工業大学 惑星探査研究センター 上席研究員)

■ だれでもプロジェクト -障害者週間 2015

障害者週間にあわせ、コミュニケーションをテーマに聴覚障害のある方にも楽しめるタップダンスや視覚障害のある方とともに展示を見学するツアーをおこないました。

▶体験イベント「からだタップ -からだで感じるタップダンス!」

実施日：2015年11月29日(日)、12月6日(日) 参加者：計275人(6回)

開 発：慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科、JST ACCEL 身体性メディアプロジェクト

主 催：日本科学未来館、慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科、JST ACCEL 身体性メディアプロジェクト

協 力：手話タップダンサー&パフォーマー『しゅわッring』、BASEMENT

▶展示ツアー「みえる人とみえない人のミライカンバセーション -ロボットとわたし」

期 間：2015年12月5日(土)、6日(日) 参加者：計41人(4回)

主 催：日本科学未来館、Google Field Trip Days、特定非営利活動法人スローレーベル

共 催：視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ



サイエンス・ミニトークの様子



ノーベルスタジオの様子



特別版ミニトーク
「研究者と一緒に、月隕石の世界をのぞこう!」隕石観察の様子



体験イベント
「からだタップ -からだで感じる
タップダンス!」

(敬称略)

1. 科学を伝える その他のイベント

■みどりの学術賞 関連イベント

「みどりの日」(5月4日)についての国民の関心と理解を一層促進し、「みどり」について国民の造詣を深めることを目的とした「みどりの学術賞」に関連するイベントを展開。科学コミュニケーター3名が、内閣府より「みどりの科学コミュニケーター」に任命されました。

▶サイエンティスト・トーク「みどりでつなぐーひと・まち・地球」

実施日：2015年6月20日(土) 参加者：40人
講 師：進士五十八(東京農業大学 名誉教授)

▶みどりの学術賞 受賞記念講演会

実施日：2015年7月12日(日) 参加者：100人
講 師：進士五十八(東京農業大学 名誉教授)、寺島一郎(東京大学大学院 理学系研究科 教授)

▶観察イベント「森から川、海へー植物プランクトンの観察」

期 間：2015年5月2日(土)～6日(水・祝) 参加者：194人

▶ワークショップ「キミは生き残れるか?! 植物のかけ引きをゲームで体験」、「日光を手に入れろ! 光合成チャレンジ!」

期 間：2015年5月2日(土)～6日(水・祝)、8月13日(木)～17日(月) 参加者：のべ621人



ワークショップ
「キミは生き残れるか?!
植物のかけ引きをゲームで体験」

■油井飛行士、宇宙へ! 関連イベント

打ち上げ前にはミッションの解説を行い、打ち上げ後の国際宇宙ステーション(ISS)への入室(ハッチオープン)の瞬間の映像中継、帰還後の報告イベントを通して、油井亀美也宇宙飛行士の活動を来館者と共に応援するイベントを開催しました。

▶ニコニコ生放送「油井飛行士、宇宙へ! 地上から油井飛行士を支えるフライトディレクタ」

実施日：2015年7月16日(木) 視聴者数：377(コメント：1,322)

▶油井飛行士、宇宙へ!ーハッチオープン・パブリックビューイング

実施日：2015年7月23日(木) 参加者：300人

▶みんなでひらく宇宙のとびら 油井飛行士から未来のきみへ

実施日：2016年3月2日(水) 参加者：250人



トークイベント
「みんなでひらく宇宙のとびら
油井飛行士から未来のきみへ」

■Google Science Jam 2015

高校生の個人とチームを対象とする科学研究のコンテスト。8月8日(土)、9日(日)に参加高校生向けの「研究スタートワークショップ」を実施しました。

連 携：グーグル株式会社、高エネルギー加速器研究機構、宇宙航空研究開発機構

場 所：高エネルギー加速器研究機構

参加者：74人(13～18歳 30チーム)

■特別イベント「世界のはじまりをさぐる」

天文学や地球惑星科学、アストロバイオロジーなどの最新研究成果を紹介するミニ展示を行いました。

会 期：2016年1月13日(水)～2月7日(日)

会 場：1階 企画展示ゾーン

▶サイエンス ミニトーク特別版「見えない光で見えてくる宇宙ーALMA望遠鏡で視る惑星系のはじまりー」

実施日：2016年1月31日(日) 参加者：計141人(2回)

講 師：秋山永治(国立天文台 チリ観測所 特任助教)

▶サイエンス ミニトーク特別版「宇宙に生き物はいるの? 研究者に聞いてみよう!」

実施日：2016年2月7日(日) 参加者：計140人(2回)

講 師：河口優子(東京薬科大学 生命科学部 嘱託助教)



サイエンス ミニトーク特別版
「宇宙に生き物はいるの?
研究者に聞いてみよう!」

(敬称略)

1. 科学を伝える メディア制作・活用

■科学コミュニケーターブログ

科学コミュニケーターによる情報発信ツールの1つとしてブログならではの即時性を活かし、タイミングを重視した情報発信を努めています。

URL: <http://blog.miraikan.jst.go.jp/>

▶ ページビュー数：969,005 (2015年度合計)

▶ 2015年度のブログ記事掲載数：135件

【時宜を捉えた記事(一部抜粋)】

MERS。韓国では、今… (金祉希／2015年6月12日(金))

MERS。そして中国では、今… (陳ドゥ／2015年6月15日(月))

箱根山のニュース。気づきましたか？表記の変化 (佐竹渉／2015年7月1日(水))

南部先生、ペンタゴークが見つかりましたよ (福田大展／2015年7月19日(日))

日本の「白兎(HAKUTO)」月を目指す！ (浜口友加里／2015年10月23日(金))

油井さん帰還直前に、全国で見上げるチャンス！ 国際宇宙ステーション (谷明洋／2015年12月4日(金))

【今度こそ！祝！】113番目の元素 命名権を日本の理化学研究所が獲得！ (雨宮崇／2016年1月7日(木))



科学コミュニケーターブログ

■オンラインメディアの活用

▶ Twitter@Miraikan

科学トピック、注目の展示やイベント情報などを発信しています。

URL: <https://twitter.com/miraikan>

▶ 公式Facebook

イベントやお知らせをはじめ、より未来館を楽しむための情報を発信しています。

URL: <https://www.facebook.com/miraikan.jp>

▶ Miraikan Channel (YouTube／ニコニコ生放送)

YouTubeチャンネルで過去のイベントや、展示に関連した映像を配信しています。また、ニコニコ生放送等でイベントの中継も行っています。

YouTube Miraikan Channel URL: <http://www.youtube.com/miraikanchannel/>

ニコニコ生放送Miraikan Channel URL: <http://ch.nicovideo.jp/miraikan/live>

タイトル	開催日	講師	視聴者	コメント数
ニコニコ生放送 Miraikan Channel				
細胞、からだ、私。一医療を選ぶ日までに聞いておきたい『細胞』のはなし	2015年4月4日(土)	浅島誠(日本学術振興会理事、東京大学 名誉教授)	2,600	584
「村上隆×猪子寿之 -2人がみつめるアートの未来」	2015年4月11日(土)	猪子寿之(チームラボ代表)、村上隆(アーティスト)	766	430
油井飛行士、宇宙へ！地上から油井飛行士を支えるフライトディレクタが生出演	2015年7月16日(木)	井田恭太郎(宇宙航空研究開発機構)	377	1,322
ニュートリノが語る世界のしくみー2015年ノーベル物理学賞受賞記念	2015年12月5日(土)	中家剛(京都大学 理学研究科 教授)	664	1,980
Lesson#3.11 納得できて？低線量被ばくの影響ー科学でしめす、社会が選ぶー	2016年3月12日(土)	津田敏秀(岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授)、越智小枝(相馬中央病院 内科診療科長)	661	3,280
ニコニコ生放送 (niconico×日本科学未来館)				
niconico×日本科学未来館【徹底解説】MERSアタックから身を守る	2015年6月19日(金)	堀成美(国立国際医療研究センター 国際感染症対策室)	17,569	3,161
2015年ノーベル賞発表の瞬間を一緒に迎えよう！ ノーベル生理学・医学賞	2015年10月5日(月)	—	34,814	18,364
2015年ノーベル賞発表の瞬間を一緒に迎えよう！ ノーベル物理学賞	2015年10月6日(火)	—	41,623	28,741
2015年ノーベル賞発表の瞬間を一緒に迎えよう！ ノーベル化学賞	2015年10月7日(水)	—	46,788	28,024
誰でもわかる今年のノーベル賞	2015年10月25日(日)	高嶋秀行(Newton本誌・ムック 編集部長)、黒田有彩(司会、NHK Eテレ『高校講座 物理基礎』MC)	23,837	3,161
niconico×日本科学未来館 “耐性菌”って何だ！？	2015年12月4日(金)	堀成美(国立国際医療研究センター 国際感染症対策室)、笠井正志(兵庫県立こども病院 小児感染症科)	14,497	3,380



【徹底解説】
MERSアタックから身を守る



2015年ノーベル賞発表の瞬間を一緒に迎えよう！

(敬称略)